

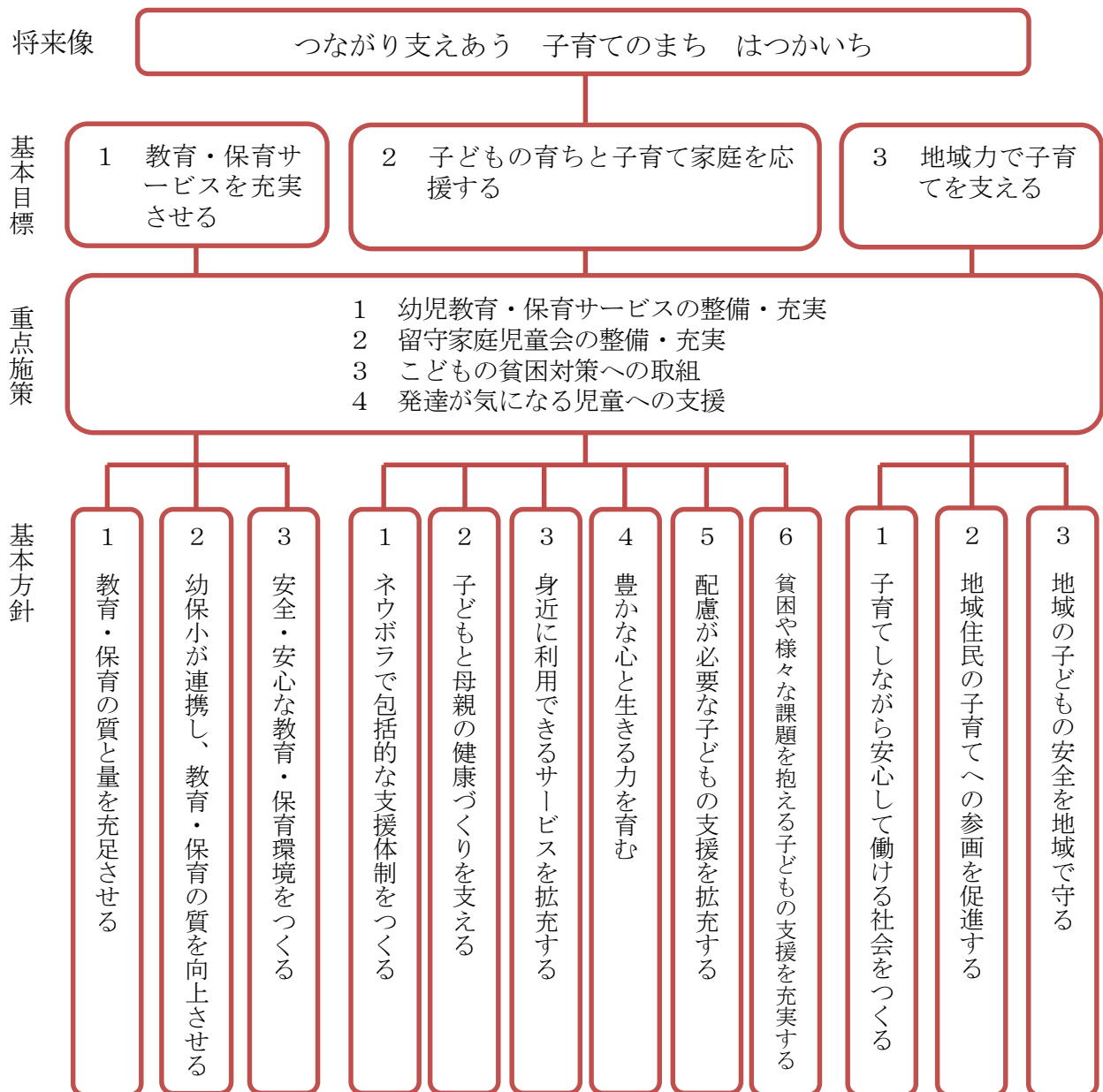
第 2 期廿日市市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（報告）

1 概要

平成 27 年度から平成 31 年度を計画期間とした廿日市市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育施設等の整備やネウボラはつかいちの設置など、様々な事業を行ってきた一方で、相談件数が増加する児童虐待や子どもの貧困問題等、子どもや子育て世帯を取り巻く新たな課題も生じている。

こうした状況のなか、前計画の進捗状況に加え、多様な子育てニーズや新たな子育て課題等を踏まえ、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を目的に、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 カ年を計画期間とした、第 2 期廿日市市子ども・子育て支援事業計画を策定し、子どもにかかる様々な事業を展開している。

2 計画の体系



3 進捗状況と評価

(1) 進捗状況の点検

進捗状況については、各担当課において「数値目標設定事業調書」を作成し、事業内容、成果、実施上の課題などについて検証を行った。

(2) 進捗状況

<数値目標>

第2期計画では、3つの基本目標ごとに基本方針を定め、基本方針ごとに合計33項目の主な取組と成果の指標として数値目標を設定し、第2期計画期間の5カ年で実施していく事業の評価を行った。

ア 基本目標1「教育・保育サービスを充実させる」

11の数値目標を設定しており、ファミリー・サポート・センターの利用者数及び幼稚園の預かり保育の利用者数は減少となったが、その他の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、令和元年度と同水準に戻ってきており、概ね目標達成に向けて進捗している。

イ 基本目標2「子どもの育ちと子育て家庭を応援する」

19の数値目標を設定しており、市内全地域にネウボラ体制を構築するなど、順調に進んでいる事業がある一方で、乳幼児家庭全戸訪問事業や子育て支援センターの利用については、昨年度と比べ増加しているものの、依然として、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける結果となった。そのほか、留守家庭児童会の定員については、新たに大野西児童会の施設を整備したこと及び宮内児童会実施場所（学校の教室）を増やしたことにより定員が130人増えている。

令和2年度は事業を中止していた移動図書館車の巡回については事業を再開した。

ウ 基本目標3「地域力で子育てを支える」

3つの数値目標を設定しており、ファミリー・サポート・センターの提供会員数は、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている一方で、交通安全教室の実施回数については、コロナ禍前の令和元年度の水準に戻っている。

(3) 専門部会委員からの意見、助言等

これまで増加してきた保育利用児童数が、今後は減少していくことが見込まれるため、保育の受け皿整備の方針をどう転換していくのが重要である旨、指摘があった。また、配慮が必要な子どもに対する支援の実施の必要性についての言及等があり、今後、研修のさらなる充実等、支援の充実を求められた。

4 総括

令和3年度末における進捗状況としては、14項目が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度末時点の数値を上回り、また、5項目が令和6年度末の目標数値を達成している一方で、前年度を下回った5項目のうちの訪問型や集団（密）になりやすい事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける結果となった。令和6年度末の目標数値を達成している項目については、第3期子ども・子育て支援事業計画策定時に、目標数値等の見直しの検討も必要である。